

MASPRO

フルハイビジョン AHD カメラ

取扱説明書

ASM14

保証書付



- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

目次

	ページ
1. 特長	2
2. 安全上のご注意	3
3. 使用上のご注意	7
4. セット内容	8
5. 各部の名称	9
6. 設置例	10
7. カメラ機能のメニュー設定	11
7-1. レンズ (LENS)	11
7-2. 露出 (EXPOSURE)	11
7-3. 逆光補正 (BACKLIGHT)	14
7-4. ホワイトバランス (WHITE BAL)	18
7-5. デイ・ナイト機能 (DAY & NIGHT)	19
7-6. ノイズリダクション機能 (NR)	20
7-7. スペシャル機能 (カメラタイトル・映像処理・動体検知・プライバシーマスク・欠陥画素補正) ...	21
7-8. 画面調整 (ADJUST)	29
7-9. メニュー設定の終了 (EXIT)	30
8. 寸法図	31
9. 修理に関して	31
10. 仕様	32
11. 保証書	裏表紙

1. 特長

● 200 万画素フルハイビジョン AHD カメラ

有効画素数 1920×1080(200 万画素)CMOS イメージセンサーを搭載。

本機対応のレコーダーを使用すれば、フルハイビジョン(1920×1080)での録画ができます。

● 夜間・暗所撮影対応

赤外線照射機能で夜間撮影に対応、赤外線照射時は白黒撮影となります。

(赤外線照射距離 最大約 20m)

被写体最低照度 0.003Lux まで対応

・暗所での良好に撮影できる距離は半分程度としてお考えください。

● 画像の上下左右反転機能

表示画像を上下左右で反転できますから、様々な向きに設置できます。

● カメラタイトル表示機能

画面上に最大 15 文字のカメラタイトル表示ができますから、映像識別が容易になります。

● プライバシーマスク機能

最大 4 か所まで、画面上に表示される映像にマスクングすることができますから、撮影エリア制限などプライバシーに配慮できます。

● レコーダー側からのカメラ設定

UTC 機能対応レコーダーから、マウス操作でカメラのメニュー設定ができます。

カメラ部に操作ボタンを配しないため、設置工事の際はスマートな防水対策が可能です。

・メニュー言語は日本語非対応です。

● 防じん・防水(IP66)カメラ

防じん防水性能 IP66 のため、屋内はもちろん、屋外設置にも対応できます。

(完全防水ではありませんから、軒下など直接雨が当たらない場所をお勧めします)

2. 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

- 付属のACアダプターは、本機以外に使用しないでください。また、他の機器のACアダプターを本機に使用しないでください。
- 付属のACアダプターの使用方法は、取扱説明書をご覧ください。

絵表示について

この「安全上のご注意」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



禁止の行為を示しています。



行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。



警告



- 本機やACアダプターなどを包装しているポリ袋は、お子様の手の届く場所に放置しないでください。飲込むと窒息し、死亡の原因となります。
- ACアダプターは、コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり、物や扉などで挟んだり、熱器具に近付けたりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。コードが傷んだ場合（芯線の露出や断線など）、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの内部に、金属類や燃えやすいものなど、異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターは、風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
 - ・ 押入れ・本箱・天井裏など、風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - ・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする。
 - ・ 布や布団でおおったり、包んだりする。
- 本機やACアダプターを分解したり、改造したりしないでください。また、内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご連絡ください。
- ACアダプターに水をかけたり、濡らしたりしないでください。ACアダプターの上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。また、ペットなどの動物が、ACアダプターの上に乗らないようにご注意ください。尿や糞が中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で、ACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 雷が鳴出したら、ACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。
- 本機にホースなどで直接水をかけないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源（AC100V）を入れたまま配線工事をしないでください。感電の原因となります。
- 雷のときは配線工事をしないでください。火災・感電の原因となります。
- ACコードを延長するために、途中で切断して別のコードをつながないでください。電気設備技術基準で禁止されています。接続に不備があると、火災・感電の原因となります。



警告



- 万一、ACアダプターの内部に、異物や水が入った場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 万一、ACアダプターを落としたり、破損したりした場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプターをACコンセントから抜き、煙や臭いがなくなるのを確認して販売店にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
- ACアダプターは、必ず本機にご使用ください。他の機器または他メーカーの製品と組合わせて使用しないでください。また、他の機器のACアダプターを本機に使用しないでください。火災の原因となります。
- ACアダプターは、ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、ACアダプターは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。
- 本機を壁面に取付けて使用するときは、堅固・確実に取付けてください。不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁[石こうボード、ALC(軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、ベニヤ板など]には取付けないでください。落下により、けがの原因となります。
- 配線工事は安全・確実に行なってください。誤った配線工事は、火災・感電・事故の原因となります。
- 電源配線工事には電気工事士の資格が必要です。販売店へご相談ください。
- ケーブルの接続時は、防水ボックス、防水ゴム、防水キャップ、自己融着テープで防水処理を行なってください。火災・感電の原因となります。
- 本機を壁面や天井に設置するときは、配線や配管を傷つけないように取付けてください。配線や配管などを傷つけると、火災・感電の原因となります。

注意

- 本機やACアダプターは、湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器の近くなど、油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本機やACアダプターは、温室やサニタリーなどの、高温で湿度の高い所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ACアダプターをACコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACアダプターのACプラグを持って抜いてください。
- 土中埋設配線する場合は、土中での接続はしないでください。絶縁劣化により、感電の原因となることがあります。

注意

- 本機を移動させる場合、必ずACアダプターをACコンセントから抜いてください。コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れは、安全のため、必ずACアダプターをACコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。
- 長期間、使用しないときは、安全のため、必ずACアダプターをACコンセントから抜いてください。そのままにしておくと、火災の原因となることがあります。
- 雷の発生が予想されるときは、前もって、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。落雷によって、火災の原因となることがあります。
- 土中埋設する場合、ケーブルや配線材などは、電線管などを使用して防水処理をしてください。感電の原因となることがあります。
- 換気扇などのモーター類を搭載した機器の電源とは別系統で配線してください。電源ノイズの影響を受け、録画や画面表示が正常動作しない可能性があります。

3. 使用上のご注意

- 本機を使用できるのは、日本国内のみです。海外では使用できません。
- 本機を分解・改造しないでください。分解・改造した場合は、保証対象外となります。故障した場合、販売店に修理を依頼してください。
- 本機は、防犯を保証する機器ではありません。ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 本機は、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して使用してください。撮影された画像が、公になったり、使用されたりして、被写体のプライバシーや肖像権の侵害、画像の使用による損害が生じても、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 本機の故障、誤作動、接続機器の不具合などによる内容の補償、録画した内容の損失および直接・間接の損害に対して、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 本機に磁石など磁気を持っているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて動作が不安定になることがあります。
- エアコンの室外機の風が直接当たる場所に設置しないでください。故障・誤作動の原因となります。
- 本機は完全防水構造ではありません。軒下など、できるだけ雨、風や直射日光が直接あたらないところに設置してください。
- 高温・高湿・密閉状態となる場所で使用しないでください。故障の原因となります。
- ACアダプターを第2種環境(商業、軽工業、および工業用環境)の電源に接続しないでください。故障・誤作動の原因となります。
- 周囲温度-10℃以下で使用した場合、レンズ部がくもったり、霜が付いたりすることがあります。
- センサーやカメラのレンズには手で触れないでください。故障の原因となります。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で軽く拭取ってください。
- 本体の清掃には科学薬品や洗剤を使用せず、硬く絞った雑巾などを使用してください。
- 高電圧を発生している装置(エアコンの室外機、モーター、コンプレッサーなど)の近くには設置しないでください。映像の乱れなどの影響を及ぼす場合があります。
- 直接日光やハロゲン光などの高輝度の被写体を長時間映さないでください。撮像素子が破損する原因になります。

4. セット内容



本体



防犯カメラ設置シール

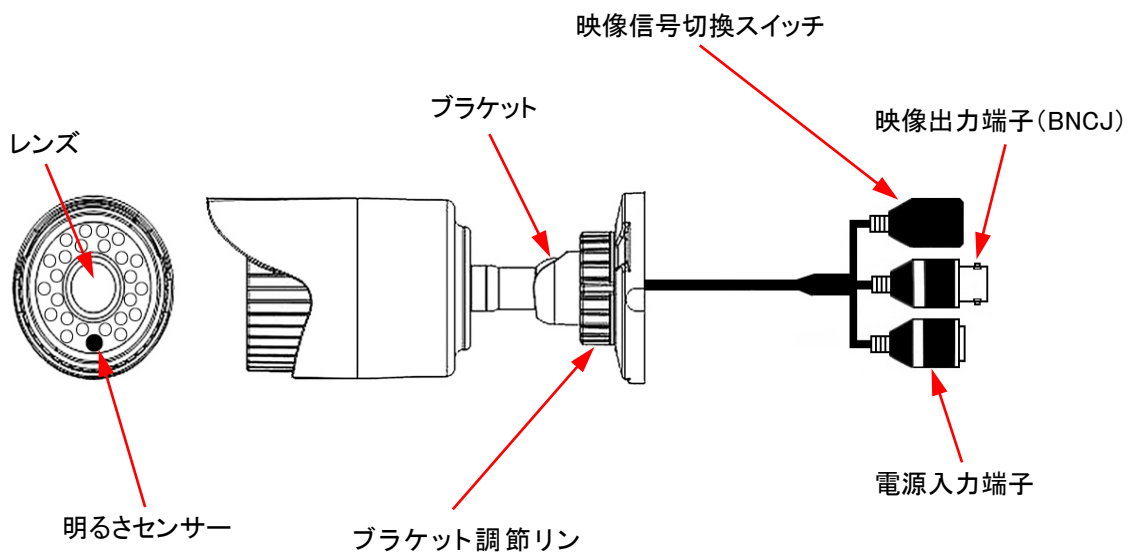


ブラケット固定用ねじ



AC アダプター

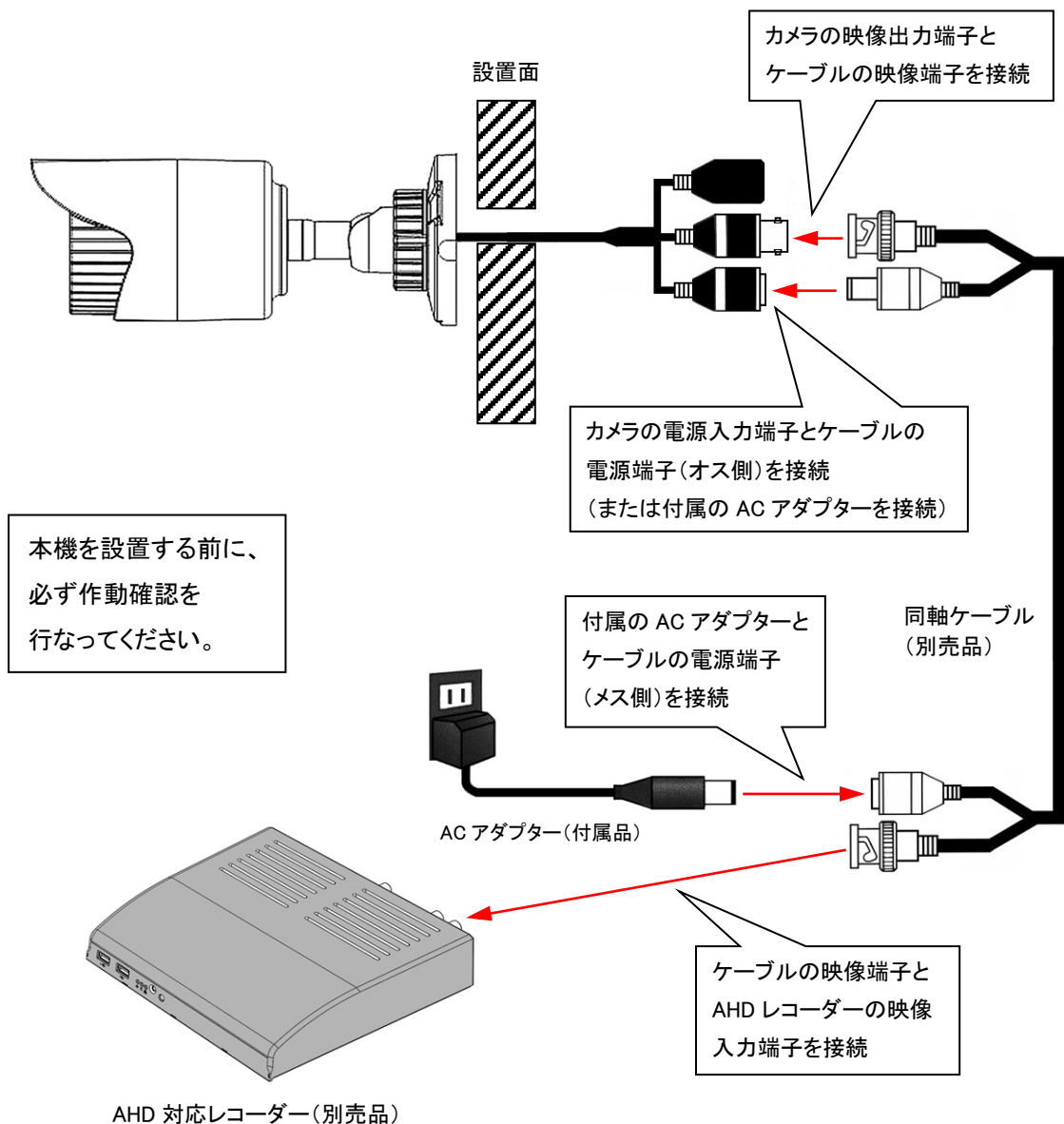
5. 各部の名称



映像信号切換スイッチは、映像出力端子から出力される映像信号を AHD (フルハイビジョン) 信号と CVBS (アナログ) 信号で切替えるスイッチです。

スイッチが押し難い場合は、カバーを外して、直接スイッチ部を押してください。

6. 設置例



- ・映像出力端子と電源入力端子を設置面の穴に通して、ブラケット固定ねじにてブラケットを設置面へ固定します。
- ・カメラの映像出力端子から AHD レコーダーの映像入力端子へ配線します。
- ・カメラの電源入力端子、またはケーブルの電源端子へ付属の AC アダプターを接続して、コンセントへ差込みます。
- ・ブラケット調節リングを緩めて、映像を確認しながらカメラの角度を調節します。

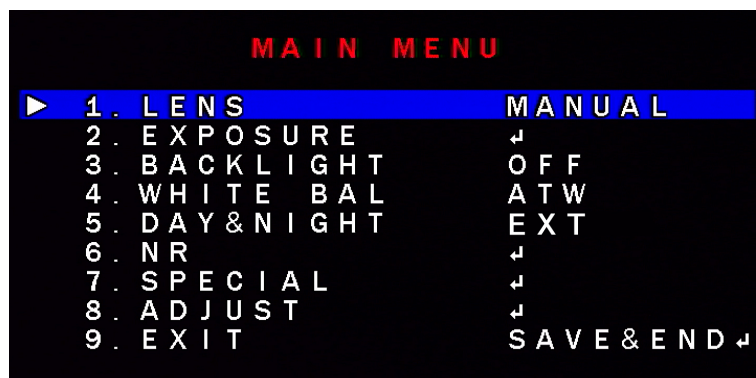
- ・ブラケットを 90 度以上曲げると、ケーブルにストレスがかかり、断線の原因となりますので、ご注意ください。
- ・AHD フルハイビジョンカメラを使用する場合は、必ず対応したレコーダーとの接続が必要です。
- ・端子の接続部は防水構造ではありません。接続部が屋外に出る場合は、必ず防水処理を行なってください。
- ・雨の降りかかる屋外に設置する場合は、ブラケットの付根やケーブル通し溝などに防水処理を行なってください。
- ・赤外線照射距離は最長で約 15m ですが、暗所で良好に撮影可能な距離は半分程度とお考えください。

7. カメラ機能のメニュー設定

ご使用前にモニターに表示されるメニュー画面で各機能の設定をする必要があります。
正確な設定を行うことにより目的の撮影が可能となります。
メニューの設定は、UTC 機能に対応しているレコーダーから操作を行なってください。
カメラ本体では、メニューの設定はできません。

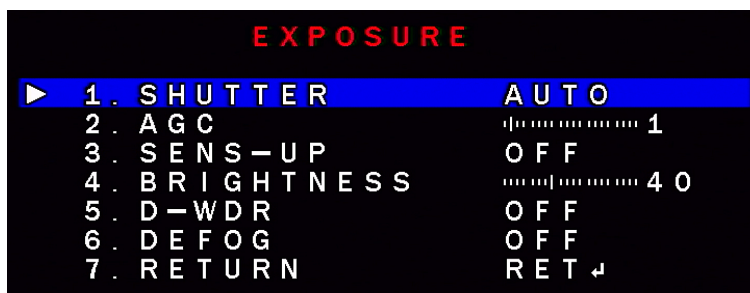
◆7-1. レンズ(LENS)

本機のレンズはマニュアルレンズなので『MANUAL』を選択します。
『DC』を選択しての使用はできませんので、ご注意ください。



◆7-2. 露出(EXPOSURE)

カーソルを『EXPOSURE』へ移動します。



① シャッタースピードの設定(SHUTTER)

被写体に合わせてシャッタースピードを設定します。
カーソルを『SHUTTER』へ移動します。

AUTO	自動で絞り調整を行いません。
手動設定	1/30、1/60、FLK(※)、1/240、1/480、1/1000、1/2000、1/5000 1/10000、1/50000、×2～×30 より選択します。 ※FLK(フリッカレス) 周波数との不一致で発生する映像のちらつきを抑える機能ですが、本機は アイリス調整タイプのレンズを使用していないため効果は得られません。

② オートゲインコントロールの設定 (AGC)

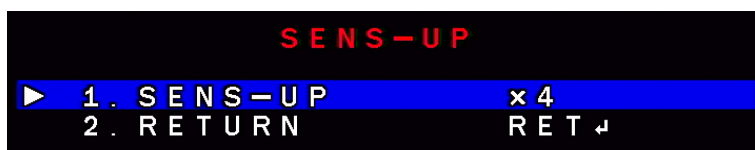
イメージセンサーへの入射光量によって信号レベルを制御して出力信号のレベルを一定にする機能です。夜間の撮影に対して有効な機能ですが、ノイズは増幅されます。カーソルを『AGC』へ移動させ、AGC 値を 0～15 にて設定します。

③ 感度設定 (SENS-UP)

低照度撮影時の自動電子感度アップ機能の感度レベルを設定します。暗所の撮影または低コントラストの場合に、暗さのレベルを自動的に感知して感度を増幅させ、明るく鮮明な画像を撮影します。

・露出設定のシャッタースピードを『AUTO』または『1/30』に設定して使用します。

カーソルを『SENS-UP』へ移動させ、『AUTO』を選択します。



×2～30 倍から設定が可能です。高い数値ほど暗所に適していますが、シャッタースピードは低下します。

設定が終わったら、カーソルを『RETURN』へ移動させ、『SAVE & END』を選択し、設定内容を保存してメニュー設定を終了します。

前の画面に戻る場合は、『RET』を選択します。

④ 明るさ設定 (BRIGHTNESS)

カーソルを『BRIGHTNESS』へ移動させ、画面の明るさの数値を 1～100 にて設定します。

⑤ ワイドダイナミックレンジ機能の設定 (D-WDR)

明度の差が大きい場所でも、暗い部分と明るい部分の両方を鮮明に撮影することができます。屋内と屋外を同時に撮影する場合に効果的です。

カーソルを『D-WDR』へ移動させ、『AUTO』または『ON』を選択します。

設定レベルを手動で設定する場合は、『ON』を選択します。



D-WDR のレベルを 0～8 にて設定可能です。

設定が終わったら、カーソルを『RETURN』へ移動させ、『SAVE & END』を選択し、設定内容を保存してメニュー設定を終了します。

前の画面に戻る場合は、『RET』を選択します。

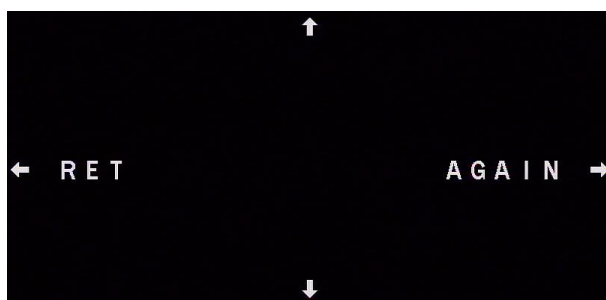
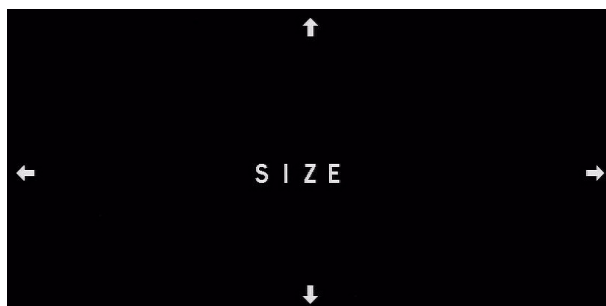
⑥ 映像のかすみ補正の設定 (DEFOG)

もやや激しい雨などでかすんだ映像を補正して最適な映像に補正する機能です。
カーソルを『DEFOG』へ移動させ、『AUTO』を選択します。



⑥-1 POS/SIZE

補正位置 (POSITION) と補正範囲 (SIZE) を設定します。
『POS/SIZE』を選択すると、設定画面が表示されます。
補正位置と範囲を調整します。
調整が終わったら、次の画面へ移動します。



設定が終わったら『RET』を選択します。
設定をやり直す場合は、『AGAIN』を選択します。

⑥-2 GRADATION(グラデーション)

補正範囲の枠内のぼかし値を 0~2 で設定します。

⑥-3 DEFAULT(初期設定)

変更した設定内容を初期値に戻します。

⑥-4 RETURN(戻る)

全ての設定が終わったら、カーソルを『RETURN』へ移動させ、『SAVE & END』を選択し、設定内容を保存してメニュー設定を終了します。

前の画面に戻る場合は、『RET』を選択します。

◆7-3. 逆光補正(BACKLIGHT)

逆光下で撮影する際、露出補正を行い、そのままでは暗く写ってしまう被写体を適切な露出で撮影する機能です。

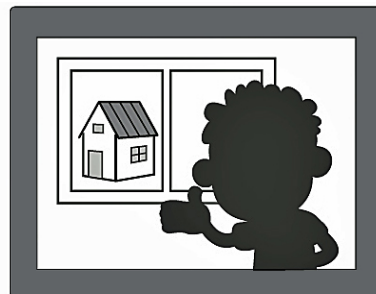
カーソルを『BACKLIGHT』へ移動させ、『BLC』または『HSBLC』より選択します。

■BLC■

被写体が暗く映ってしまう現象を補正し、鮮明度を改善します。



BLCオン



BLCオフ

B L C			
▶	1	LEVEL	M I D D L E
	2	AREA	↵
	3	DEFAULT	↵
	4	RETURN	RET ↵

① LEVEL(レベル)

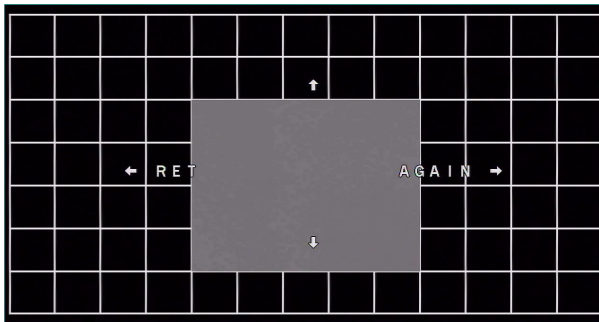
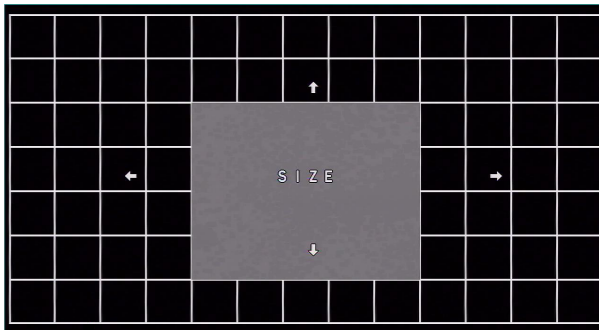
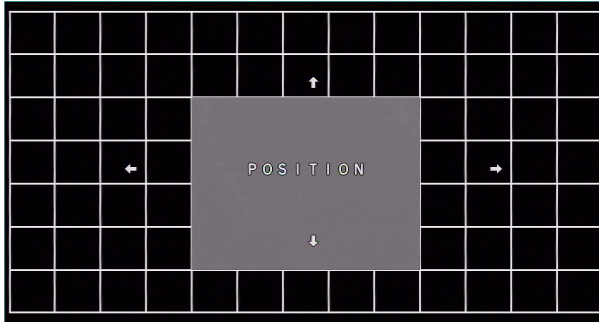
BLC の補正値を『LOW』『MIDDLE』『HIGH』より選択します。

② AREA(エリア)

補正位置 (POSITION) と補正範囲 (SIZE) を設定します。

『AREA』を選択すると設定画面が表示されます。補正位置と範囲を調整します。

調整が終わったら、次の画面へ移動します。



設定が終わったら『RET』を選択します。設定をやり直す場合は、『AGAIN』を選択します。

③ DEFAULT(初期設定)

変更した設定内容を初期値に戻します。

④ RETURN(戻る)

全ての設定が終わったら、カーソルを『RETURN』へ移動させ、『SAVE & END』を選択し、設定内容を保存してメニュー設定を終了します。前の画面に戻る場合は、『RET』を選択します。

■HSBLC■

設定したエリア内で強い光を放つ部分をマスクする(隠す)ことで他の部分への反射を軽減します。



① SELECT(エリア選択)

設定するエリアを『AREA1』～『AREA4』より選択します。

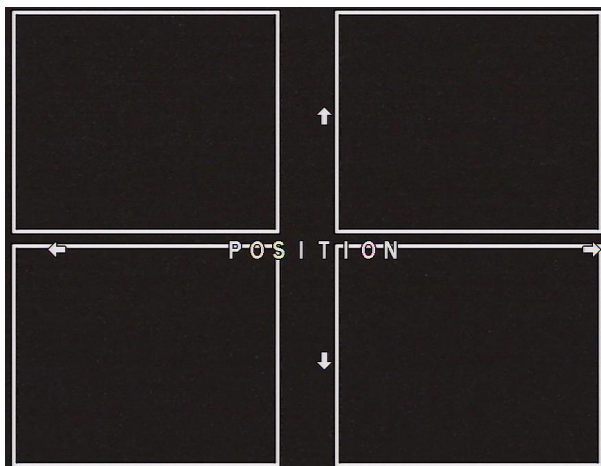
② DISPLAY(エリア表示)

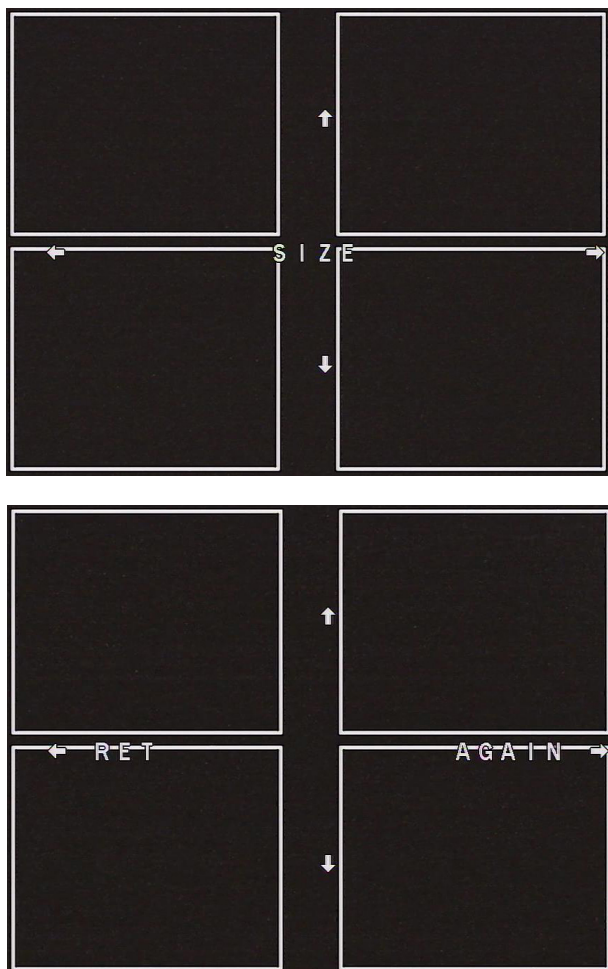
選択している『AREA1』～『AREA4』のマスク範囲の『ON』『OFF』を選択します。

『ON』を選択すると、設定画面が表示されます。

エリア位置 (POSITION) とエリア範囲 (SIZE) を調整します。

調整が終わったら、次の画面へ移動します。





設定が終わったら『RET』を選択します。

設定をやり直す場合は、『AGAIN』を選択します。

③ BLACK MASK

光源への黒色のマスク処理の『ON』『OFF』を選択します。

④ LEVEL(レベル)

マスク処理のレベルを 0～100 にて設定します。

数値が低いほど弱い反射部分にもマスク処理を行います。

⑤ MODE(モード)

HSBLC の作動モードを『ALL DAY(終日)』または『NIGHT(低照度撮影時)』から選択します。

『NIGHT』を選択すると、AGC レベルを 0～255 にて設定できます。



設定が終わったら、カーソルを『RETURN』へ移動させ、『SAVE & END』を選択し、設定内容を保存してメニュー設定を終了します。

前の画面に戻る場合は、『RET』を選択します。

⑥ DEFAULT(初期設定)

変更した設定内容を初期値に戻します。

⑦ RETURN(戻る)

全ての設定が終わったら、カーソルを『RETURN』へ移動させ、『SAVE & END』を選択し、設定内容を保存してメニュー設定を終了します。

前の画面に戻る場合は、『RET』を選択します。

◆7-4. ホワイトバランス(WHITE BAL)

白い被写体を撮像した時に、白く再現するよう調整する機能です。

カーソルを『WHITE BAL』へ移動させて設定を変更します。

① ATW(自動追尾型)

ホワイトバランスが自動調整されます。(被写体の色温度が 1800~10500K のとき)

② AWC→SET

特定の被写体に合わせてホワイトバランスを調整します。

撮影中に選択操作をすると自動的に調整されます。

被写体が変わった場合は、再度ホワイトバランスを調整してください。

③ IN DOOR

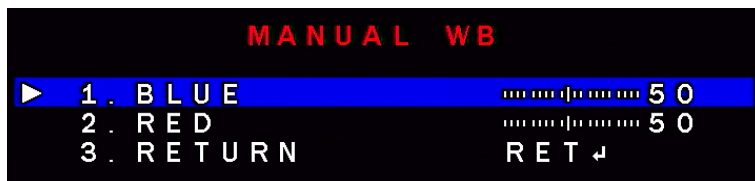
室内撮影に合わせたホワイトバランスになります。

④ OUT DOOR

屋外撮影に合わせたホワイトバランスになります。

⑤ MANUAL(手動設定)

ホワイトバランスを手動で調整します。



BLUE	0～100にて青色値を設定します。
RED	0～100にて赤色値を設定します。
RETURN	『RET(戻る:保存無し)』または『SAVE&END(保存&終了)』を選択します。

⑥ AWB

ホワイトバランスを自動調整します。(被写体の色温度が 2500 ~ 9500K のとき)

◆7-5. デイ・ナイト機能(DAY&NIGHT)

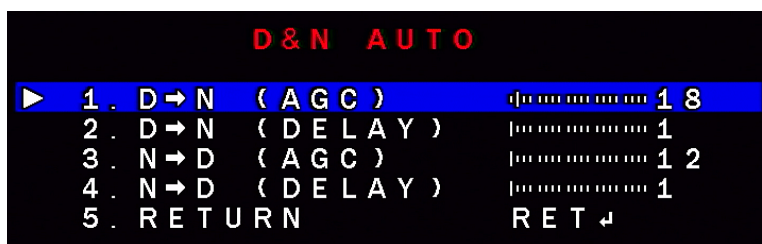
撮影環境が低照度状態(夜間など)になった場合のカラー撮影と白黒撮影の設定をします。
低照度状態では、白黒で撮影した方が鮮明な映像が撮影できます。
カーソルを『DAY&NIGHT』へ移動させて設定します。

① COLOR(カラー固定)

明るさに関係なく、カラー撮影モードに固定します。

② AUTO(自動)

低照度状態で、カラー撮影モードから白黒撮影モードへ自動で切替えます。



D→N(AGC)	昼モードから夜モードに切替わる時のゲイン値を 1～222 にて設定します。
D→N (DELAY)	昼モードから夜モードに切替わるタイミングを 0～60 にて設定します。 (数値が低いほど早く切替わります。)
N→D(AGC)	夜モードから昼モードに切替わる時のゲイン値を 1～222 にて設定します。
N→D (DELAY)	夜モードから昼モードに切替わるタイミングを 0～60 にて設定します。 (数値が低いほど早く切替わります。)
RETURN	『RET(戻る:保存無し)』または『SAVE&END(保存&終了)』を選択します。

③ B/W

明るさに関係なく白黒撮影モードに固定します。

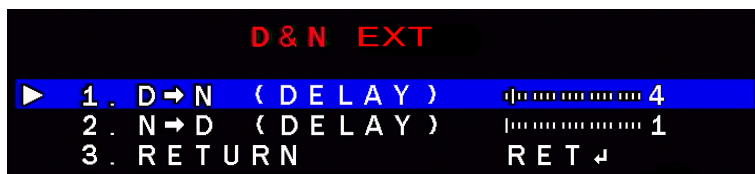


BURST	バースト信号出力の ON/OFF を選択します。
IR SMART	・本機では使用できない機能です。
RETURN	『RET(戻る:保存無し)』または『SAVE&END(保存&終了)』を選択します。

④ EXT

赤外線照射に連動して、カラー撮影モードから白黒撮影モードへ自動で切替えます。

本機は、赤外線照射機能を搭載していますので、基本的には『EXT』に設定して使用します。



D→N (DELAY)	昼モードから夜モードに切替わるタイミングを 0~60 にて設定します。 (数値が低いほど早く切替わります。)
N→D (DELAY)	昼モードから夜モードに切替わるタイミングを 0~60 にて設定します。 (数値が低いほど早く切替わります。)
RETURN	『RET(戻る:保存無し)』または『SAVE&END(保存&終了)』を選択します。

◆7-6. ノイズリダクション機能(NR)

映像に現れたノイズをデジタル処理により低減します。

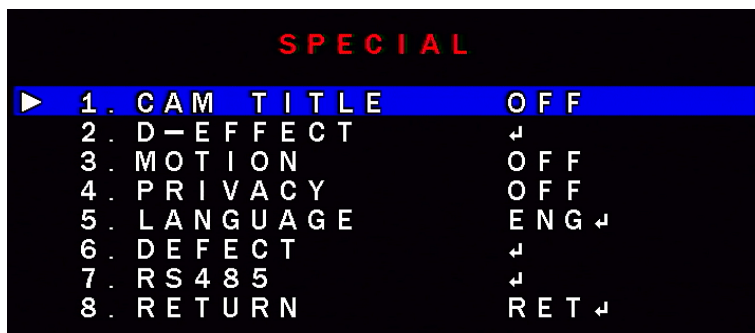
『NR』を選択すると、ノイズリダクション設定画面が表示されます。



2DNR	2DNR(2次元)の度合い値を『LOW』『MIDDLE』『HIGH』より選択します。
3DNR	3DNR(3次元)の度合い値を『LOW』『MIDDLE』『HIGH』より選択します。
RETURN	『RET(戻る:保存無し)』または『SAVE&END(保存&終了)』を選択します。

◆7-7. スペシャル機能(SPECIAL)

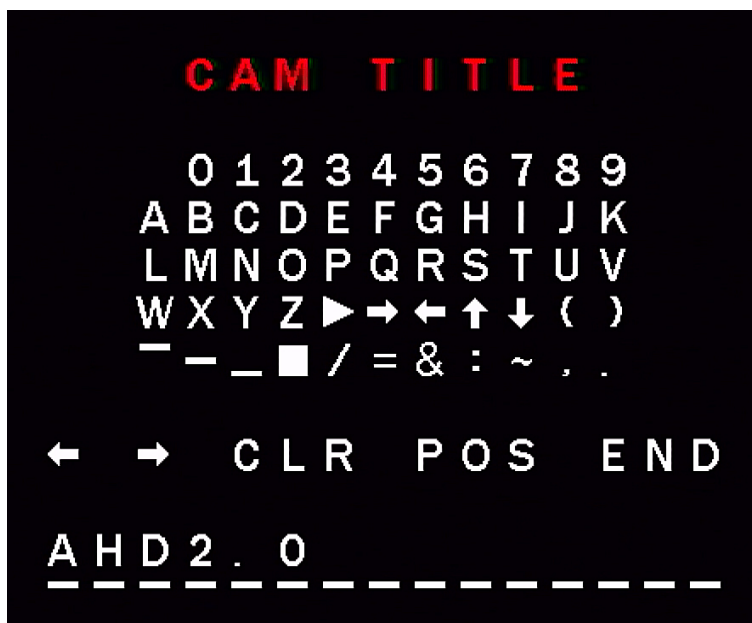
カメラタイトル・映像処理・動体検知・プライバシーマスク・欠陥画素補正機能の設定をします。
『SPECIAL』を選択すると、スペシャル設定画面が表示されます。



① CAM TITLE(カメラタイトル)

カメラにタイトルを設定して、画面上に表示することができます。

カーソルを『CAM TITLE』へ移動させ、『ON』選択すると、カメラタイトル設定画面が表示されます。



数字・アルファベットよりタイトルを作成します。作成したタイトルは最下段に表示します。

選択している部分がゆっくりと点滅します。

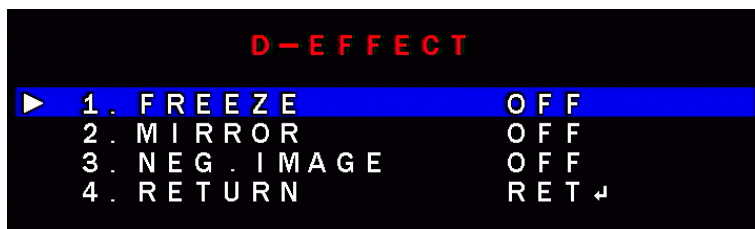
設定できる文字数は、最大入力 15 文字までです。

←	カメラタイトルのカーソルを左へ移動させます。
⇒	カメラタイトルのカーソルを右へ移動させます。
CLR	カメラタイトルを全消去します。
POS	カメラタイトルの位置を設定します。
END	カメラタイトル設定を終了します。

② D-EFFECT(映像処理)

デジタル映像処理の設定をします。

『D-EFFECT』を選択すると、映像処理設定画面が表示されます。

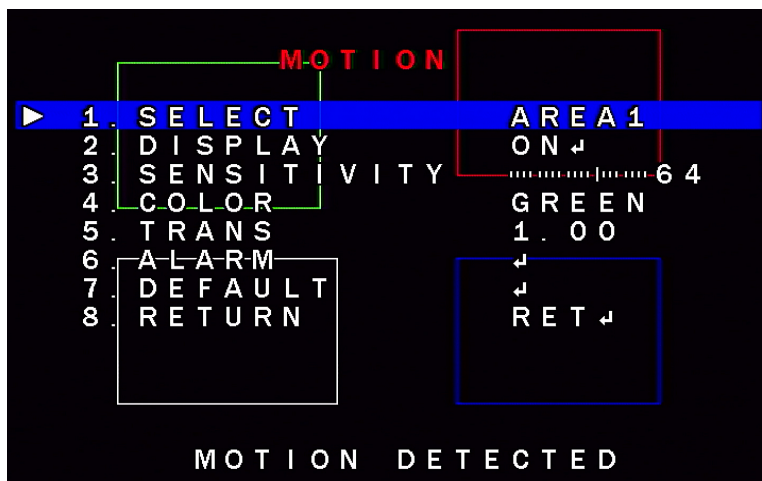


FREEZE	映像を一時的にフリーズ状態(静止)にします。
MIRROR	映像を上下左右に反転させます。 MIRROR:映像が左右反転します。 V-FLIP:映像が上下反転します。 ROTATE:映像が上下左右反転します。
NEG. IMAGE	映像をネガ調にします。
RETURN	『RET(戻る:保存無し)』または『SAVE&END(保存&終了)』を選択します。

③ MOTION(動体検知)

撮影画面の中の動きを検出します。検出エリアは最大4か所まで設定が可能です。

カーソルを『MOTION』へ移動させ、『ON』選択すると、動体検知設定画面が表示されます。



③-1 SELECT(エリア選択)

検出エリアを『AREA1』～『AREA4』より選択します。

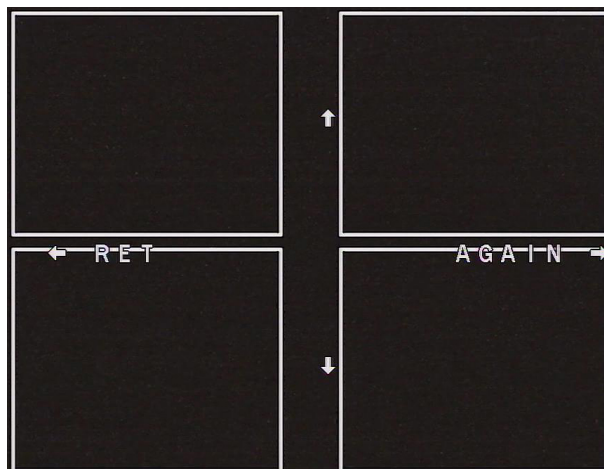
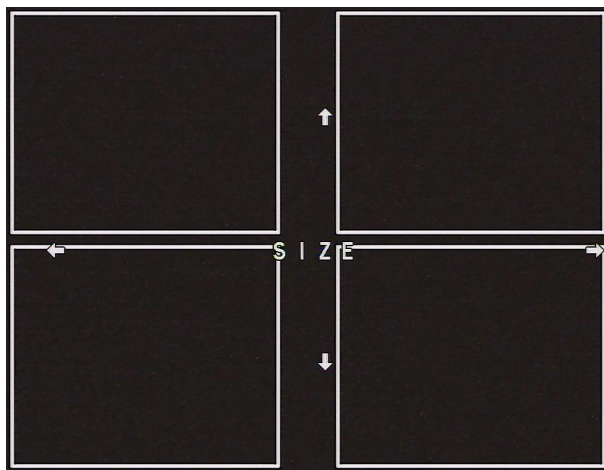
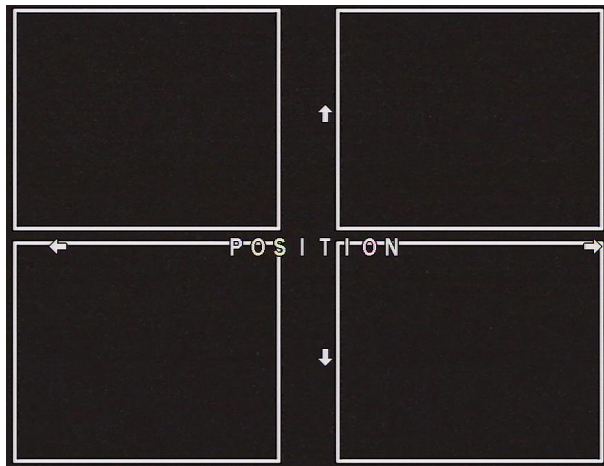
③-2 DISPLAY(エリア表示)

選択している『AREA1』～『AREA4』の『ON』『OFF』を選択します。

『ON』を選択すると、設定画面が表示されます。

エリア位置 (POSITION) とエリア範囲 (SIZE) を調整します。

調整が終わったら、次の画面へ移動します。



設定が終わったら『RET』を選択します。

設定をやり直す場合は、『AGAIN』を選択します。

③-3 SENSITIVITY (感度)

検知感度を 0~100 にて設定します。(数値が大きいほど感度が高くなります。)

③-4 COLOR(カラー)

検知エリアを表示するカラーを選択します。

『GREEN(緑)』『BLUE(青)』『WHITE(白)』『RED(赤)』より選択します。

③-5 TRANS(トランス)

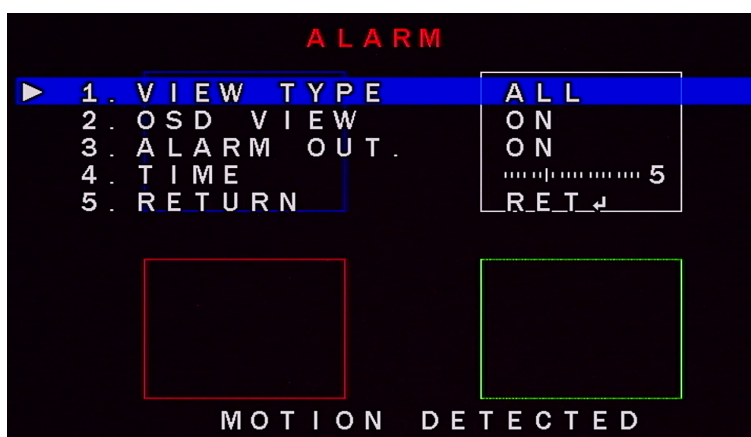
検知エリアの中の透明度を『0.00』『0.25』『0.75』『1.00』より選択します。

(数値が小さいほど透明度が増します。)

③-6 ALARM(アラーム)

動体検知時のアラーム表示の設定をします。

『ALARM』を選択すると、アラーム設定画面が表示されます。



VIEW TYPE	エリアを表示させるタイプを『BLOCK(ブロック)』、『OUT LINE(アウトライン)』、『ALL(全て)』より選択します。
OSD VIEW	『ON』を選択すると、動体検知時に画面上に“MOTION DETECTED”と表示します。
ALARM OUT	・本機では使用できない機能です。
TIME	『OSD VIEW』で設定している動体検知時の画面表示の時間を 1～15 秒にて設定します。(画面上に動きがなくなつてからの時間になります。)
RETURN	『RET(戻る:保存無し)』または『SAVE&END(保存&終了)』を選択します。

③-7 DEFAULT(初期設定)

『DEFAULT』を選択すると、初期設定値に戻ります。

③-8 RETURN(戻る)

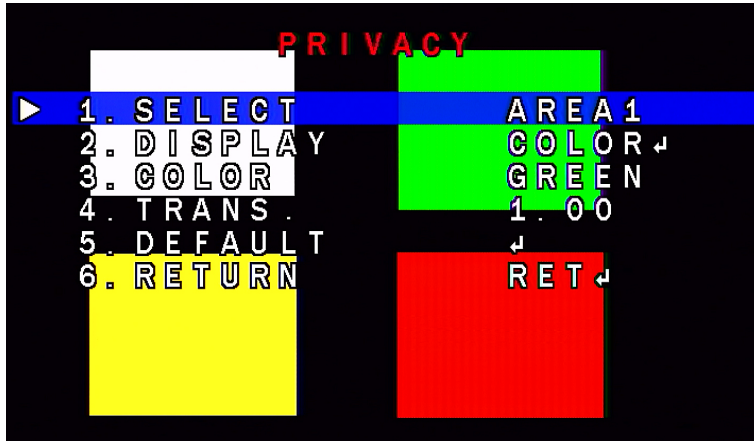
全ての設定が終わったら、カーソルを『RETURN』へ移動させ、『SAVE&END』を選択し、設定内容を保存してメニュー設定を終了します。

前の画面に戻る場合は、『RET』を選択します。

④ PRIVACY(プライバシーマスク)

指定した範囲をマスクで隠すことによりプライバシーを保護することができます。プライバシーマスクは最大4か所まで設定が可能です。

カーソルを『PRIVACY』へ移動させ『ON』を選択すると、プライバシーマスク設定画面が表示されます。



④-1 SELECT(エリア選択)

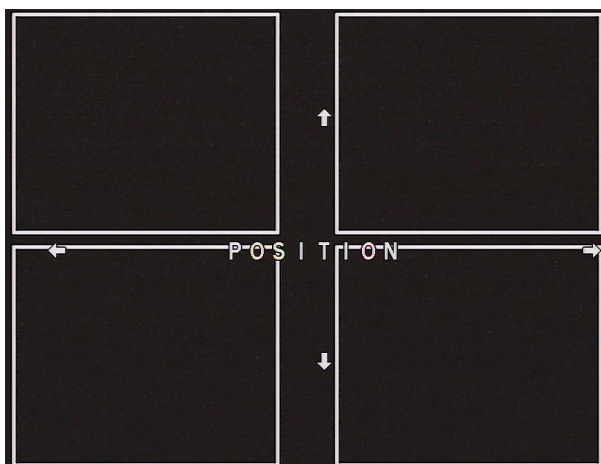
マスクエリアを『AREA1』～『AREA4』より選択します。

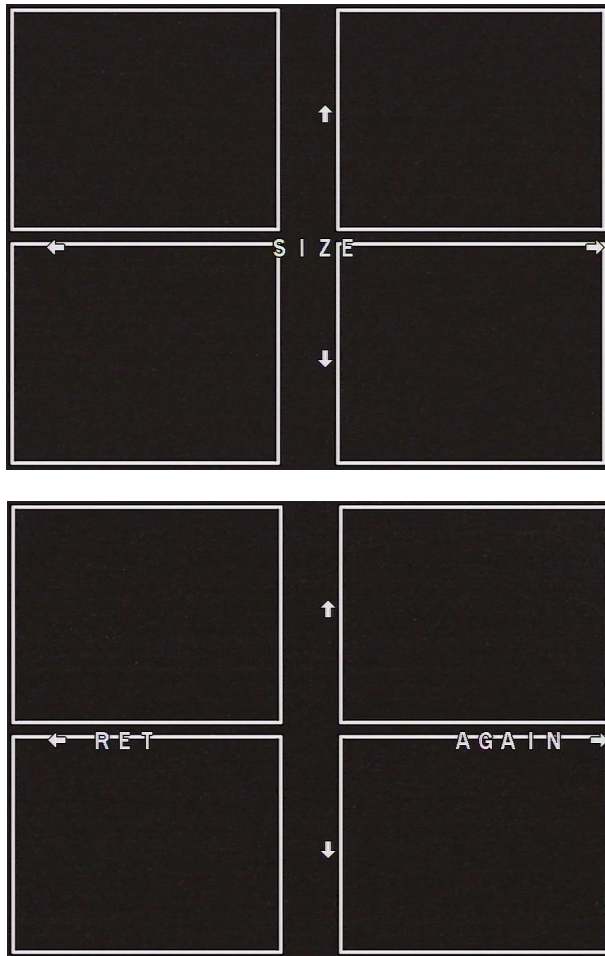
④-2 DISPLAY(エリア表示)

マスクエリアの表示を『MOSAIC(モザイク)』『INV.(インバータ)』『COLOR(カラー)』より選択します。

マスクエリアの表示を選択後に、マスクエリア位置 (POSITION) とマスクエリア範囲 (SIZE) を調整します。

調整が終わったら、次の画面へ移動します。





設定が終わったら『RET』を選択します。
 設定をやり直す場合は、『AGAIN』を選択します。

④-3 COLOR(カラー)

『DISPLAY』にてカラーを選択した場合のマスクエリアの色を選択します。
 『WHITE(白)』『BLACK(黒)』『RED(赤)』『BLUE(青)』『YELLOW(黄)』『GREEN(緑)』
 『CYAN(シアン)』『USER(ユーザー)』より選択します。

④-4 TRANS(トランス)

マスクエリアの中の透明度を『0.25』『0.50』『0.75』『1.00』より選択します。
 (数値が小さいほど透明度が増します。)

④-5 DEFAULT(初期設定)

『DEFAULT』を選択すると、初期設定値に戻ります。

④-6 RETURN(戻る)

全ての設定が終わったら、『SAVE&END』を選択し、設定内容を保存してメニュー設定を終了します。
 前の画面に戻る場合は、『RET』を選択します。

⑤ LANGUAGE(言語)

OSD の表示言語は、12ヶ国語に対応しています。

・日本語には対応していません。

⑥ DEFECT(欠陥画素補正)

画面上のドット欠けをデジタル補正して修正する機能です。

『DEFECT』を選択すると、欠陥画素補正設定画面が表示されます。



⑥-1 LIVE DPC

ライブ映像から赤いドット欠けなどをデジタル自動補正で修正します。

カーソルを『LIVE DPC』へ移動させ、『ON』を選択すると、LIVE DPC 画面が表示されます。

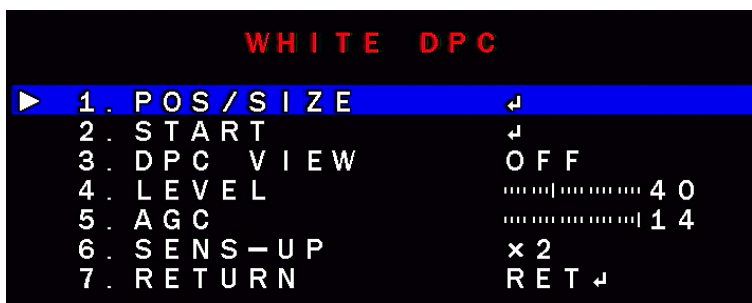


AGC LEVEL	AGC レベル値を 0~255 にて設定します。
LEVEL	補正レベル値を 0~100 にて設定します。
RETURN	『RET(戻る:保存無し)』または『SAVE&END(保存&終了)』を選択します。

⑥-2 WHITE DPC

画面上の白いドット欠けをデジタル補正して修正します。

カーソルを『WHITE DPC』へ移動させ、『ON』を選択すると、WHITE DPC 画面が表示されます。

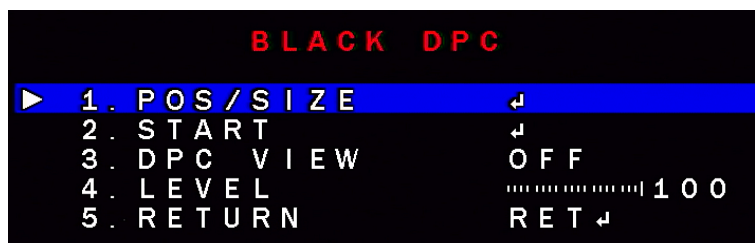


POS/SIZE	補正する位置 (POSITION) と大きさ (SIZE) を設定します。 調整が終わったら、次の画面へ移動します。 設定が終わったら『RET』を選択します。 設定をやり直す場合は、『AGAIN』を選択します。
START	デジタル補正を開始します。 “CLOSE THE IRIS THEN PRESS ENTER” と表示されますので、再度選択操作をして終了です。
DPC VIEW	『ON』を選択すると、画面を黒くして、白いドット欠けがあるか確認できます。
LEVEL	デジタル補正のレベル値を 0～100 にて設定します。
AGC	デジタル補正に対する AGC 値を 0～14 にて設定します。
SENS-UP	デジタル補正に対する感度を ×2～×30 にて設定します。
RETURN	『RET (戻る: 保存無し)』または『SAVE&END (保存&終了)』を選択します。

⑥-3 BLACK DPC

画面上の黒いドット欠けをデジタル補正して修正します。

カーソルを『BLOCK DPC』へ移動させ『ON』を選択すると、BLOCK DPC 画面が表示されます。



POS/SIZE	補正する位置 (POSITION) と大きさ (SIZE) を設定します。 調整が終わったら、次の画面へ移動します。 設定が終わったら『RET』を選択します。 設定をやり直す場合は、『AGAIN』を選択します。
START	デジタル補正を開始します。
DPC VIEW	『ON』を選択すると、画面を白くして、黒いドット欠けがあるか確認できます。
LEVEL	デジタル補正のレベル値を 0～100 にて設定します。
RETURN	『RET (戻る: 保存無し)』または『SAVE&END (保存&終了)』を選択します。

⑦ RS485

・本機では、使用できない機能です。

⑧ RETURN (戻る)

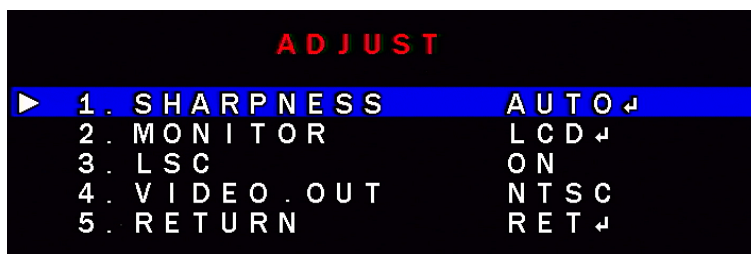
全ての設定が終わったら、『SAVE&END』を選択し、設定内容を保存してメニュー設定を終了します。

前の画面に戻る場合は、『RET』を選択します。

◆7-8. 画面調整(ADJUST)

シャープネス・モニター・レンズシェーディング補正・映像出力の設定をします。

『ADJUST』を選択すると、画面調整設定画面が表示されます。



① SHARPNESS(シャープネス設定)

映像のシャープネスを調整する度合いを設定します。

『AUTO』を選択すると、シャープネス設定画面が表示されます。



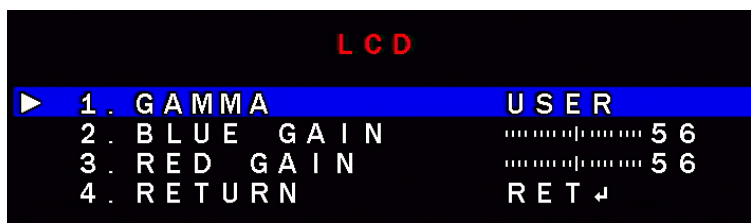
LEVEL	シャープネスのレベル値を 0～10 にて設定します。
START AGC	調整を開始する AGC 値を 0～255 にて設定します。
END AGC	調整を終了する AGC 値を 0～255 にて設定します。
RETURN	『RET(戻る:保存無し)』または『SAVE&END(保存&終了)』を選択します。

② MONITOR(モニターの設定)

使用するモニターの種類に合わせて『LCD(液晶)』または、『CRT(ブラウン管)』より選択します。

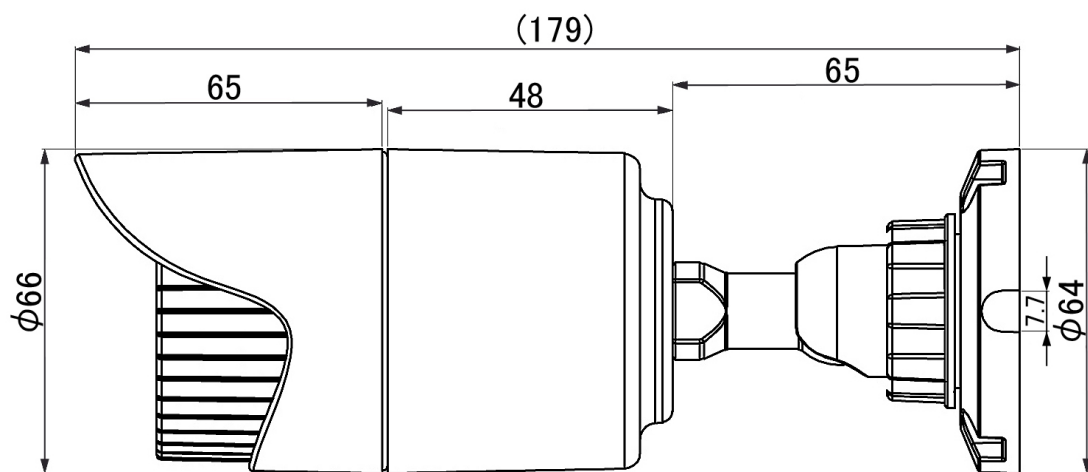
②-1 LCD

『LCD』を選択すると、LCD 設定画面が表示されます。



GAMMA	画面全体を見易くするためのガンマ値を USER/0.45～1.00 にて設定します。
BLUE GAIN	画面の青み値を 0～100 にて設定します。
RED GAIN	画面の赤み値を 0～100 にて設定します。
RETURN	『RET(戻る:保存無し)』または『SAVE&END(保存&終了)』を選択します。

8. 寸法図



単位:mm

9. 修理に関して

不具合の原因が設定の問題や一時的な誤作動で、物理的な異常では無いものがあります。
修理を依頼する前には、設定の確認、電源の再投入や設定の初期化(リセット)をお試しください。

10. 仕様

イメージセンサー	1/2.9 インチ カラーCMOS 2.1Megapixel Sony 製
有効画素	1920(H)×1080(V)
レンズ	3.6mm(F2.0)
水平視野角	約 79°
逆光補正機能	BLC/ HSBLC
ワイドダイナミックレンジ	D-WDR
同期方式	内部同期
映像出力端子	BNC.J(AHD/CVBS 切換)
最低被写体照度	0.1Lux(感度アップ 30 倍時 0.003Lux)・白黒撮影
感度アップ	OFF/ON(2~30 倍)
SN 比	50dB 以上 (AGC OFF)
デイ・ナイト機能	EXT/AUTO/COLOR/BW
オートゲインコントロール	ON 0~15/OFF
ホワイトバランス	ATW/AWC→SET/INDOOR/OUTDOOR/AWB
シャッタースピード	1/30~1/50,000 秒
ノイズリダクション機能	2DNR/3DNR
カメラタイトル表示	最大 15 文字
プライバシーマスク機能	4 か所任意設定
画像処理機能	ブライトネス(1~100)/静止画像/上下左右反転 シャープネス(1~10)/ネガ画像
赤外線照射距離	最長約 20m(LED36 個/850nm)
防水性能	IP66(本体のみ)
OSD	日本語非対応
電源	DC12V±1V (センタープラス)
消費電力	最大約 400mA
ケーブル長	約 0.5m(映像・映像信号切換・電源)
本体重量	約 320g
使用温度範囲	-10~40°C
付属品	AC アダプター・取付ねじ・防犯カメラ設置シール

- ・本機を使用する場合は、必ず本機対応レコーダーとの接続が必要です。
- ・電源が 50Hz 地域の蛍光灯付近で使用すると、フリッカー(映像のチラツキ)が発生する場合があります。
- ・AHD カメラの特性として、イメージラグ(輪郭が 2 重に映る症状)が発生する場合があります。

接続、設定情報メモ

接続・設定情報メモ

保証書

フルハイビジョンAHDカメラ

MODEL ASM14

お客様ご住所	
TEL.	— —
★お客様お名前	
様	
★保証期間(販売店記入欄)	
お買上げ日	年 月 日から1年間
★販売店名・住所(販売店記入欄)	
TEL.	— —

★印の欄にご記入のない場合、または、販売店の発行した、お買上げ日、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合、無効になります。本書は再発行いたしませんから、紛失しないよう大切に保管してください。

無料修理規定

- [取扱説明書]などの注意にしたがった正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合、お買上げの販売店に本製品と本書をご持参、ご提示のうえ、修理をご依頼ください。無料修理させていただきます。
- 次のような場合、保証期間中でも有料修理になりますから、ご注意ください。
- ・ 本書のご提示がない場合。
 - ・ 本書に、お客様お名前、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、または、販売店の発行した、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合。
 - ・ 本書の字句を書換えられた場合。
 - ・ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障および損傷。
 - ・ ご使用上の誤りによる故障および損傷。
- 本書は日本国内に限り有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

持込修理

- ・ 不当な修理や改造による故障および損傷。
- ・ お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
- ・ 他の機器などにより誘発する故障および損傷。
- ・ 一般家庭用以外(例えば業務用や車両・船舶への搭載など)に使用されたときの故障および損傷。
- ・ 設置工事、施工の不備によって生じた故障および損傷。

本書に明示した期間および条件で、無料修理をお約束します。保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にお問合わせください。修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により、有料修理いたします。

＝マスプロ電気株式会社＝

本社 〒470-0194 (本社専用番号) 愛知県日進市浅田町上納80
営業部 TEL名古屋 (052) 802-2244

＝マスプロ電気＝

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80

技術相談  0570-091119

ナビダイヤル®。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは 052-805-3366
受付時間 9～12時、13～17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット www.maspro.co.jp

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。